

市政を問う！ 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、18人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（2月下旬掲載予定）

高齢者の居場所づくり

山田 敏夫 議員

問 高齢者の居場所づくりとして、子どもから高齢者まで交流する「多世代交流型サロン」を今後どのように整備していくのか。
答 これから設置する（仮称）介護予防センターなどで取り組みを地域に広げていきたい。

学習支援の充実

問 経済的な理由により就学が困難な方に対する高校・大学への入学準備金と奨学金貸付制度の拡充は。
答 今後は、市が直接貸し付けるのではなく、金融機関から教育資金の融資を受け返済した方に対して市が利子補給する方式に変更して所得要件の緩和等、より役立つ制度にしていきたい。

農地の活用を

問 農家の協力を得て菜の花などを楽しめる景観づくりをしてはどうか。
答 国の多面的機能支払交付金などの制度を活用して実現していきたい。



介護予防センターに変わる
かみふくおか西デイサービスセンター

保育士の人材確保、処遇改善策

渡辺 大議員

問 常勤の保育士に一人当たり月1万4400円、臨時の保育士に月7200円の補助金を交付している。保育士の人材確保、処遇改善策についての更なる打ち手は。
答 認可保育園への土地賃借料の助成を引き続き行う。

未就学児及び保育士への予防接種の助成

問 インフルエンザ予防接種は、児童、他の園児、家族、保育士への発症予防などの相乗効果がある。65歳以上の方は、1000円の方、1000円の自己負担で受けられることとのバランスも欠く。市の考えは。
答 研究する。

病児保育の拡充

問 保育園に通っている子どもが病気になる時時に会社を休まなければならない。病児保育の拡充は。
答 病児保育の拡充は、



スマートフォンで撮った電子データの受給資格証の画像

子ども医療費の受給資格証を電子データで

問 スマートフォンで撮った受給資格証の画像で対応できないか。
答 検討する。

問 拡充は必要と認識している。
答 拡充は必要と認識している。

結婚するならふじみ野市役所で届出挙式を

加藤 恵一 議員

問 市役所で届出挙式をしてはどうか。
答 市のイベントの一环として数組限定で行うなど、他市事例を参考に効果的な実施方法について研究していきたい。

地区に愛着をもてるまちづくり

問 ふじみ野市PR大使ふじみんのデザインや指定避難場所などを記載した街区表示板を作成してはどうか。
答 ふじみや指定避難場所を記載することは、可能であると考えられる。現在劣化が進んでおり付け替えも検討している。新たに作成する際は、提案を参考にしたい。

交通安全対策の更なる向上に向けて

問 ゾーン30の今後の計画は。
答 市内では、すでに3つの区域で指定され、平成29、30年度で新たに駒西小学校周辺区域が指定される計画である。今後も引き続き、地域の交通状況を勘案



街区表示板

子どもの貧困対策をいかに進めるか

鈴木 啓太郎 議員

問 子どもの貧困の実態把握はどのように進んでいるか。
答 生活状況への調査から、生活困難を抱える世帯の子どもは、経済的困窮だけでなく、学習への影響、心身の不調、自己肯定感の喪失などを伴い、また保護者には病気やDV被害があるなど包括的な支援を必要とする等の分析を重ね、切れ目のない支援実施の体制をつくらせていく。

地震火災を防ぐ地震ブレイカー

問 大地震発生時の木造住宅密集地域の火災対策として地震ブレイカーの助成を進めてはどうか。
答 地震発生後の二次被害対策として一定の評価を得た製品と捉えているので、様々な機関の推奨事例を検討していく。



地震ブレイカー

問 貧困の状態にある子どもへの支援について学校現場とはどのような連絡体制ができていくのか。
答 福祉総合支援センター

健康寿命を延ばすたばこ対策

民部 佳代 議員

問 禁煙に対する情報提供、禁煙治療の助成など対策を行えないか。
答 情報をホームページに掲載していきたい。

問 公共施設内は禁煙だが、入り口付近の喫煙所で受動喫煙する。敷地内に閉鎖された喫煙ブースを設けるなど分煙対策を。
答 喫煙場所を工夫したい。



市民の力で文化振興

問 文化の主役は行政ではなく市民。実行委員会形式で文化活動を行う団体に助成を。
答 具体的に検討したい。

子どもを痴漢被害から守る

問 痴漢被害はオープンにならないが、実際は交通事故より多い。
答 各校の実態に応じた選定している。

小・中学生の副教材

問 教材が重く身体への負担も大きい。購入の基準が必要では。
答 各校の実態に応じた選定している。

大井分館前道路の狭い部分の改善を

西 和彦 議員

問 この道路は大井弁天の森との間を通り大井分館を過ぎると幅員が4mを切る狭い坂道である。そのため、車のすれ違い時などにトラブルが生じているが、道路改良についての考えは。
答 道路整備には、境界確定と道路の後退や道路構造等の課題もあるので、今後、交通量を考慮し検討をしていきたい。



大井分館前の狭い部分

手話言語条例の施策展開は

問 第3期障がい者基本計画の施策体系の中で、手話言語条例を周知することになっている。また、条例の第4条では、5つの施策を総合的かつ計画的に推進する責務が定められている。これらの施策展開は。
答 言語としての手話を容易に使用でき、意思疎通が図られるよう周知に努め、手話への理解が深められる環境整備を行う。また、条例の定める5つの施策推進については、それぞれの施策項目に応じた具体的な施策の展開を図っていく。